

第3部課程第105期 (平成26年7月8日～7月31日)

課 目 名	コミュニケーションの理論と実践
時 限 数	2時限
担 当 講 師	<p>(株)話し方研究所代表取締役会長 福田 健 <プロフィール> 中央大学法学部卒業 1967年 言論科学振興協会の話し方運動に参加 講師、指導部長、理事を歴任 1983年 (株)話し方研究所 所長 2004年 (株)話し方研究所 会長に就任</p>
ね ら い	<p>管理職は行政組織の中にあつて、マネジメントをより効果的に推進していく役割を担っている。組織内部にあつて部門の長として部下の意欲、能力の向上を図ると共に、他部門との調整にあたり、外部に対しては組織を代表する者として、住民の信頼と協力を獲得するための働きかけが必要となる。</p> <p>このような役割をはたす上で、管理者にはすぐれたコミュニケーションスキルが求められる。とかく日常業務の中に埋没しがちなコミュニケーションの原理・原則をあらためて見直し、コミュニケーションの実践につながる「話し方」「聞き方」の技法を学ぶ。</p>
講 義 概 要	<p>上記「ねらい」のもとに、効果的なコミュニケーションのとり方を、原則をふまえつつ、実践的な方法を中心に、具体的に説き明かす。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. いま、なぜコミュニケーションか <ul style="list-style-type: none"> ◇発信と抑制のバランス ◇コミュニケーションとは相互のやりとりである ◇相手を自分と異なる「他者」と捉えること ◇「分らない・伝わらない」からこそ話し合う 2. コミュニケーション機能論 <ul style="list-style-type: none"> ◇目的と機能 一目的に応じた機能の活用 ◇共通の土台は人と交わること ◇情報を共有するために ◇人の行動を喚起する 3. 聞く能力を伸ばす <ul style="list-style-type: none"> ◇「聞く」ことと「話す」こと ◇発信の活発化を促す ◇話し手の真意をつかむ ◇説得点の発見 <p>総括</p>
受講上の注意	なし
使用教材	<p>講義レジメ (その他、参考資料配付予定) 福田 健 著「できる人」の相談する技術 (角川書店 新書)</p>
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし